

関西電力株式会社
社長 森 望 様

申入 169 団体 (次ページ以降に記載)
連絡先 NPO法人使い捨て時代を考える会
〒600-8061京都市下京区筋屋町141
電話075-361-0222

申 入 書

能登半島地震が原発に与えた影響を直視し、現在稼働中の原発を即時停止してください。

1月1日に発生した能登半島の地震は、北陸電力志賀原発に大きな損傷を与えました。新聞報道等では以下の発表がありました。(1月初～中旬の主に朝日新聞記事より)

- ・1、2号機の使用済み核燃料プールから水があふれた
- ・1号機核燃料プールの冷却ポンプが約40分間停止した
- ・1、2号機の外部電源を受け入れる変圧器の油漏れが発生した
- ・外部電源の一部系統が使用不能となり、復旧にはかなりの時間を要する
- ・敷地内に引き込んでいる冷却用の海水の水位が3メートル上昇した
- ・周辺に設置したモニタリングポスト18ヶ所の線量計のデータが確認できなかった
- ・原発前の海面に油膜が流れ出した
- ・津波対策として、海水を引き込んでいる水槽の周囲に設けた高さ約4メートルの防潮壁の一部が数センチ傾いた
- ・1号機原子炉建屋近くで道路の段差が発生した

以上のように一般に発表されているだけでも原発の不具合が多数あったことが分かります。

志賀原発1、2号機ともに旧原子力安全・保安院時代の揺れに関する想定を上回ったとされています。2023年に北陸電力は2号機の審査にあたって敷地内を通る断層が活断層ではないというデータを出し、原子力規制委員会がそれを認めるという経緯もありました。敷地外の新たな活断層の存在も疑われています。また地震や津波で道路が寸断され、救助も避難もできない状態であることから、原子力防災を担う伊藤環境相が「避難計画の検討を」という発言をしています。

この事実を知って、関西電力の原発が果たして大丈夫と言えるのだろうか、大きな疑問をもちました。関電などが原発を予定していた珠洲市は震源に近く大きな被害が出ました。原発立地を選ぶ基準に疑問を感じます。現在関西電力の稼働中の原発(定期点検を含む)は7基で、しかもそのうち3基は運転開始40年を超える老朽原発です。同じような地震が若狭で起きたら、いったいどのような惨事が起きるかと思うと恐怖にかられます。志賀原発1号機は2011年に運転を停止しているので、冷却ポンプが停止しても使用済み核燃料プールはかなり冷えており、水温が29.5℃で水温の上昇は免れたようです。しかしながら関電の原発は動いており、日々使用済み核燃料を増やし続けています。発熱量や放射線量がより高い使用済みMOX燃料まで入っています。

どのように考えても、いますぐ原発を止める以外に安全を確保する道はありません。能登半島地震で起きた原発への影響を直視し、直ちにすべての原発を止めることを強く申し入れます。

以下のページに賛同団体名を、50音順に列記する。

申 入 書

能登半島地震が原発に与えた影響を直視し、現在稼働中の原発を即時停止してください。

1月1日に発生した能登半島の地震は、北陸電力志賀原発に大きな損傷を与えました。新聞報道等では以下の発表がありました。

- ・1、2号機の使用済み核燃料プールから水があふれた
- ・1号機核燃料プールの冷却ポンプが約40分間停止した
- ・1、2号機の外部電源を受け入れる変圧器の油漏れが発生した
- ・外部電源の一部系統が使用不能となり、復旧にはかなりの時間を要する
- ・敷地内に引き込んでいる冷却用の海水の水位が3メートル上昇した
- ・周辺に設置したモニタリングポスト18ヶ所の線量計のデータが確認できなかった
- ・原発前の海面に油膜が流れ出した
- ・津波対策として、海水を引き込んでいる水槽の周囲に設けた高さ約4メートルの防潮壁の一部が数センチ傾いた
- ・1号機原子炉建屋近くで道路の段差が発生した

以上のように一般に発表されているだけでも原発の不具合が多数あったことが分かります。

志賀原発1、2号機ともに旧原子力安全・保安院時代の揺れに関する想定を上回ったとされています。2023年に北陸電力は2号機の審査にあたって敷地内を通る断層が活断層ではないというデータを出し、原子力規制委員会がそれを認めるという経緯もありました。敷地外の新たな活断層の存在も疑われています。

この事実を知って、日本各地の原発が果たして大丈夫と言えるのだろうか、大きな疑問をもちました。すべての原発には使用済み核燃料が保管されています。志賀原発1号機は2011年に運転を停止しているので、冷却ポンプが停止しても使用済み核燃料プールはかなり冷えており水温が29.5℃で水温の上昇は免れたようです。しかしながら関電のように今現在稼働している原発は、日々使用済み核燃料を増やし続けています。いまずぐ原発を止める以外に安全を確保する道はありません。

北陸電力の審査を取りやめるとともに、現在稼働しているすべての原子力発電所を停止させることを強く申し入れます。

経産省、岸田首相宛は、上記と同じです。

以下のページに賛同団体名を、50音順に列記する。